

当院もの忘れ外来受診者における認知機能・精神状態・日常生活動作・
嚥下機能・栄養状態の総合評価プロジェクト

【本研究の背景・目的】

認知症の予防、早期発見および進行防止については様々な因子が関与しているといわれています。そのひとつに栄養状態が挙げられています。すなわち適切な栄養状況を維持することが認知症の予防や進行防止に有効であり、また、不適切な栄養状況の早期発見が認知症の早期発見にもつながるというものです。本研究では認知症あるいは認知症の疑いのある方を対象に、栄養状況を含めた健康状態をチェックすることで認知症の予防、早期発見および進行防止につながる有用な因子を検索しようというものです。

【対象となる患者さん】

2016年4月から2021年3月までの当院もの忘れ外来の受診者を対象とします。

【調査方法】

受診時に認知機能、精神状態、栄養状態、嚥下機能、生活状況などの各種検査・アンケート調査を行います。また、頭部CT・MRIなどの画像検査や血液検査などの各種検査結果、診療録にある薬物療法、経過記録を収集します。これらはいずれも通常の診療の枠内での調査であり、患者さんに新たな負担はありません。

【個人情報の取り扱い】

本研究で利用する情報は研究対象者である患者さんの個人情報を特定できないように(匿名化)します。また、研究結果は個人が特定できない形式にて学会等で発表を予定しています。

【研究の方法】

本研究は当院の臨床研究審査委員会の承認のもとに実施されます。国が定めた指針に基づき、口頭や文書による患者さん、または患者さんの家族の方からの同意は得ておりません。対象の患者さん、または患者さんの家族の方が本研究で利用を予定している各種診療情報の利用を希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡・ご相談ください。

【研究の方法】

〒444-8553 愛知県岡崎市高隆寺町五所合 3-1

岡崎市民病院 認知症疾患医療センター

☎0564-66-7474

研究責任者：脳神経内科 小林 靖